

香港に於ける日本語教育と

日本文化講義

○ あいさつ

○ 文化班の一年間の授業内容

レジュメ ・ 歴史 ・ 一中国人の日本観 ・ 言葉遣い

・ 文化いろいろ

三冊の本 ・ 日本を語る ・ 私は「毛主席の小戦士」

だった ・ ことばの宝箱

○ 講義の特徴

読むこと — 暗唱まで

唱歌を聞く

耳障りのいいことば

○ 香港の日本語レベルへの敬意

このテキストを編集するに当たって、下記3冊の書籍より引用させていただいたことを明記いたします。又、教育以外の目的では使用しないこと、無断使用・無断転用しないこと、を条件に引用を許可されております。

I : P.1~P.12 及び P.42~57 は

- ・ 著者名 : 株式会社日鉄ヒューマンデベロップメント
(現 株式会社日鉄技術情報センター)
- ・ 書籍名 : 日本を語る
- ・ 出版社名 : 株式会社 アルク

II : P.13~32 は

- ・ 著者名 : 石 平 氏
- ・ 書籍名 : 私は「毛主席の小戦士」だった
- ・ 出版社名 : 株式会社 飛鳥新社

III : P.33~41 は

- ・ 著者名 : 押坂 忍 氏
- ・ 書籍名 : ことばの宝石箱
- ・ 出版社名 : PHP 研究所

尚、日鉄技術情報センター の 井上様 (2007/08/21)
飛鳥新社 の 畑北斗様 (2007/08/14)
PHP 研究所 の 西谷様 (2007/09/07)
より 夫々引用の御承認を頂いております。

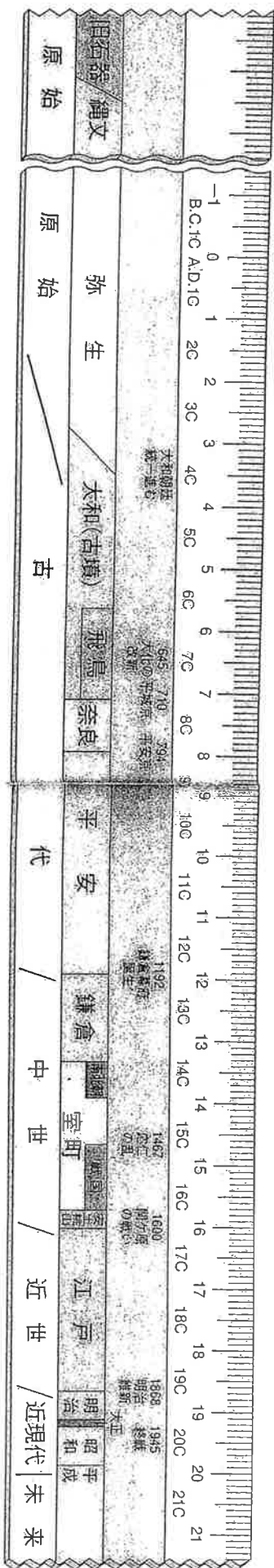
- 1 月前半 日：日本人の祖先はどこから来たのですか。
- 1 月後半 日：東大寺は世界最大の木造建築です。
- 2 月前半 日：近代化の原動力が培われた江戸 300 年。
- 2 月後半 日：明治政府誕生、そして激動の時代へ。
- 3 月前半 日：天皇家には姓がありません。
- 3 月後半 日：日本は「日出づるところ」。
- 4 月前半 私：漢方医の祖父が私に教えたこと。
- 4 月後半 私：日本で再び出合った「論語」の世界。
- 5 月前半 私：日本語を覚えて礼節を知る。
- 5 月後半 私：「やさしい」という言葉に思うこと。
- 6 月前半 私：失われた古き良き時代の理想郷。
- 6 月後半 私：京都で見つけたわが心の「江南の春」。
- 7 月前半 こ：身が美しくなる「躰」。 / 敬語の身につけ方。
- 7 月後半 こ：家庭での会話 学ぶことば。 /
親子のコミュニケーションを大切に。
- 8 月前半 こ：家族そろってお茶好きの理由。 /
親が身をもって教える躰。
- 8 月後半 こ：自然を表現することば。

- 9 月前半 日：日本人の特性と技術力との深い関係。
- 9 月後半 日：日本製品の品質を支える小集団活動。
- 10 月前半 日：妻が財布のひもを握っています。
- 10 月後半 日：男が女を演じる「女形」の不思議。
- 11 月前半 日：形より心を重んじる茶の湯。
- 11 月後半 日：扇子は日本の輸出品第 1 号です。
- 12 月前半 日：俳句は世界でいちばん短い詩です。
- 12 月後半 日：日本料理は季節感を大切にします。

日本歴史の流れ

歴史モノサジ

(注) 1 cmが1世紀(100年)。B.C.はBefore Christ(キリスト誕生以前=西暦紀元前)の略。A.D.はAnno Domini(主の年=西暦紀元)の略。CはCentury(世紀)の略。



上のモノサジを見よう。これは歴史をモノサジにしてあらわしたものである。1世紀、つまり100年がちょうど1 cmになっている。

【人類の誕生は450m左に】 まず、モノサジの左の端を見てみると、ギザギザがある。これは、はるか遠い過去へ向かって無限大に時間が伸びていることをあらわす。それから、B.C.(紀元前)1世紀の左側のところにある。水田稲作がさかんになった弥生時代と、左側に縄文と書かれている。縄文時代を意味する。実際の長さは、弥生時代が3~4 cmさらに左側に伸び、また、縄文時代も1 m50 cmほど左へ伸ばして示さなければならぬが、到底このページにはおさまらないので、波形にして省略した。しかし、もっと驚くべきは、人類の誕生である。それは450 mもこのモノサジを左へ、左へと伸ばしていかなければ、あらわすことのできない地点にある。

【明治からは1 cm強の長さ】 みなさんにとって1 cmは、お父さんとお祖父さんの世代までも含んでいる。450 mがどんな遠い過去であるか、想像してほしい。明治時代というと、みなさんは、ずいぶん遠い大むかしのように思われるに違いない。この歴史モノサジでは、ちょうど20 cmを示したあたりに現代がある。そして、明治時代は、現代から左へわずか1 cm余り。明治以後が、いかに短いかに、かえって目を見はる思いさえ

するだろう。明治になって日本が欧米文明の影響をもろに受けたことはよく知られている。日本人が欧米を知って以来の歴史を、歴史のすべてだと思ったら、大きな間違いをおかすことになる。

日本の歴史がいかに長く、豊かであるかが、かえってここからはつきり分かってくるはずだ。明治からさかのぼって、江戸、室町、鎌倉、平安、奈良、飛鳥、大和という各時代の名前を一つひとつ確かめ、その長さを比較してみよう。時代の変わり目ごとに、どういう事件があったかは、これから学ぶのだが、例えば豊臣秀吉が天下を統一したのは15 cm 9 mmのあたりだ。『源氏物語』が書かれたのは10 cmのところである。みなさんは聖徳太子の名前を知っているだろう。5 cm 9 mmで登場する。そのころヨーロッパは、まだ存在しない。フランスやドイツやイタリヤがはつきり姿をあらわすのは12~13 cmで、日本でいえば鎌倉時代である。【20 cm台を生きるみなさんへ】 モノサジの右端を見よう。20 cm台(21世紀)がみなさんの生きる時代だ。そこにどんな足跡をしるし、何を置いていくかは、みなさんの一人ひとりの生き方一つにかかっている。時間を空間に置きかえたこの歴史モノサジは、歴史の全体を見渡すのに役立つだろう。小さい出来事を見るのではなく、つねに全体に気をはってほしい。木を見るだけでなく、森を見てほしい。そういう願いで、このモノサジをお届けする。

2月5日 / 11日 近代化の原動力が培われた江戸 300年

ジョーンズ夫人：江戸幕府はどこにあったんですか。

鈴木夫人：現在の東京です。いまの宮城がもと江戸城だったのです。

ジョーンズ夫人：江戸時代はどのくらい続いたのですか。

鈴木夫人：約300年くらい続きました。

ジョーンズ氏：よくそれだけの長い間政権を維持できましたね。

鈴木氏：そうなんです。そのためにはあの手この手の支配体制をとったんです。

ジョーンズ氏：たとえば、どんな？

鈴木氏：当時は、米がお金の代わりになっていました。幕府は米の全生産高の4分の1を産出する土地と住民を握っていました。この富によって、諸大名に対して圧倒的な軍事力を持っていたのです。それに、武士を頂点とする士農工商という社会階層を定めました。武士だけが武器を持ち、その武力によって支配階級として、絶対的な権力を持っていたのです。

ジョーンズ氏：まさに武士の天下だったんですね。

鈴木氏：そうです。支配体制を維持するもうひとつのカギは、幕府が地方の行政を担当する大名の配置の仕方だったんです。

ジョーンズ氏：どんな配置をしていたんですか。

鈴木氏：徳川一族の大名とか徳川の家来の大名を江戸の周辺や重要な地点に配置したんです。

ジョーンズ氏：そうして軍事的に江戸の防衛をしたわけですね。

鈴木氏：そうなんです。それから、大名を1年ずつ江戸と国もとに交互に滞在させました。大名が国にいる間は妻子は人質として、江戸に滞在させたのです。

ジョーンズ夫人：厳しいやり方ですね。

ジョーンズ氏：その頃は外国との交流はどうなっていたんですか。

鈴木氏：17世紀の初めには幕府は、まだ外国と交流しようという気持ちが強かったんです。ところが、キリスト教の自由・平等の精神は封建制度とは矛盾するものでした。それに西南の大名が貿易によって経済的に繁栄するのを防ぐ必要もあったのです。そのために、キリスト教を禁じ鎖国政策をとったんです。

ジョーンズ氏：まったくどこの国とも交易しなかったのですか。

鈴木氏：いや、オランダ、中国、朝鮮だけとは交易していたのです。ただ、交易の場所は長崎だけに限られていました。

ジョーンズ氏：世界の動きから離れて、マイナス面が多かったでしょうね。その頃ヨーロッパではニュートンがいろんな発見をしたり、蒸気機関車が造られたりしていた時代なんですから。

鈴木氏：確かにマイナス面もあります。しかし、プラスの面も考えられます。最近では、江戸時代300年の間に国内の文化が発展成熟して素地ができていたために、日本がアジアでいちばん早く近代化できたのだという見方も強いんです。

ジョーンズ夫人：どのような発展があったのですか。

鈴木氏：学問では、儒学、歴史学の分野で、優秀な学者がたくさん出ましたし、数学、農学、薬学も独自に発展しました。和算という数学は、微分・積分に近いレベルに達していたんですよ。また、18世紀末から19世紀初めには、とくに庶民にも教育が普及しました。農民・町人を教育する寺子屋という小さな学校は2万もあり、民衆の半数近くが読み書き計算ができたようです。

ジョーンズ氏：産業面でも、これと並行して発展があったんでしょう。

鈴木氏：そうです。全国の商業、手工業、農業技術が発展しました。京都・大阪・江戸などへの農産物を運ぶための街道や航路、流通機構も整備されました。

ジョーンズ氏：この時代は芸術家の活動も活発でしたか。

鈴木氏：文化も多彩な発展をしています。歌舞伎、浮世絵、陶磁器、漆器、文学では俳句や小説などの芸術がいっせいに花開いた時代です。

5月20日 / 27日 「やさしい」という言葉に思うこと

私の好きな日本語には、「夢」や「潔く」などと並んで、「やさしい」という言葉がある。

「やさしい笑顔」「やさしい心」「人にやさしい」「地球にやさしい」などなど、日本語の中で「やさしい」という言葉で表現されている意味や心情は、実に多彩であり、多岐にわたる。普段の生活の中でも、かなり高い頻度で使われている感じがする。

実は私は、日本語の「やさしい」という言葉の重要性に気がついたのは、ある中国人の留学生仲間との会話においてである。

神戸大学留学中のある日、同じ中国四川省出身の女子留学生のCさんが、私に電話をしてきた。私のことを信頼できる(?) 兄貴と思っている彼女は、自分が付き合っている異性との別れ話について、色々相談してきたわけである。その時、たいへん面白い現象が起きた。

私とCさんとは、同じ四川省の出身だから、普段の会話は当然、四川弁で交わされている。その日も当然そうであったが、Cさんが自分の彼氏のことについて色々語っているうち、次の一語を発したのである。

「我覺得他還是一個很やさしい的人」(ウォージェダタハイスイーゴヘンやさしいデレン)(私は、彼はやっぱりやさしい人間であると思う)。

ここで彼女は、中国語で喋っている。実際、この会話の真ん中に挟まれている「やさしい」という日本語の言葉以外は、すべて中国語であった。しかし、中国語で喋っているながらも、自分の彼氏のことを評価して「やさしい人間である」と言う時だけは、彼女は日本語を使った。

そして私も次のように相づちを打った。

「对！我也認為他是個很やさしい的人。作為男朋友還是不錯的」(デュイ！オウイエレンウイタスーゴヘンやさしいデレン。ズォーウイナンポンイェーハアイスーブツォーデ)(そうだ、僕も彼はやさしい人間だと思う。ボーイフレンドとしては良い方かもしれない)と。

そこで私もやはり、自分の喋っている中国語の中に、「やさしい」という日本語の単語をごく自然に挟んでいたのである。

しかし、それは一体何故なのか。

中国人同士が中国語で話しているのに、どうしてこの一個所だけ、日本語の単語を挟まなければならなかったのだろうか。

Cさんと喋りながら、従来から日本語の使い方に敏感な私は、やはり不思議に思った。

私はかつて、精神科医の土居健郎氏の『甘えの構造』(弘文堂)、と言う日本人論の名著を読んだことがある。Cさんとの電話が終わると、真っ先に思い出したのは、土居氏がこの本の中で紹介した一つの意味深いエピソードである。

彼のところに、日本生まれのイギリス人の婦人がやってきた。恐怖症を患う娘の治療を依頼するためであった。彼女は、最初からずっと、英語で喋っていたが、話が娘の幼少の頃に及ぶと、急に日本語に切り替えた。「あの子は、あまり甘えませんでした」と言ったのである。「甘える」というのは日本語にしかない独特の表現だったからだという。

土居氏がそこで、「甘える」という日本語独特の表現の持つ意味に注目し、それを手がかりにして、「甘えの構造」という日本人独特の精神構造の解明を試みたのは、有名な話であるが、このエピソードの持つ意味と、私とCさんの交わした会話と照らしてみると、それもまた面白いことではないかと思った。

なるほど、例のイギリス人の婦人が娘の「甘え」について語る時だけは、日本語でそれを表現しなければならぬのと同じように、私とCさんは、同じ出身地の四川弁で会話していても、Cさんの彼氏の「やさしさ」について話す時だけは、やはり日本語の「やさしい」という単語に切り替えなければならなかった。この彼氏も実は、同じ中国人である。が、彼という中国人の性質を評価する時でも、私とCさんは2人とも、結局日本語の「やさしい」という単語を使ってしまった。

だとすれば、「甘える」という言葉の場合と同じように、「やさしい」という言葉は、そもそも、日本語にしかない、独特の表現ではないのか。私たち中国人同士が喋っている中国語、あるいは中国語の方言としての四川弁には、日本語の「やさしい」という言葉の意味を、そのままぴたりと言い表せるような表現が、最初からないのではないかと、ということに気がついた。

調べてみると、確かにそうであった。

中国の一流学者グループによって編纂された、『日中辞典』（上海商務印書館）の「やさしい」という単語の項目を見ていくと、学者たちが、この言葉の意味を中国語で説明するのに、どれほど骨を折っているのかがよく分かる。

彼らは実に、10個以上の中国語の単語を並べて、この「やさしい」という一語の日本語の意味を説明しなければならなかったのである。

「やさしい」とは、すなわち「善良」であり、「慈悲」であり、「懇切」であり、「温情」であり、「温和」であり、「温順」であると、この『日中辞典』は、色々と表現を変えてさまざまな角度から、この日本語の単語の意味とニュアンスを中国人に伝えようと努力している。勿論、それらの中国語の単語のいずれも、「やさしい」という単語の持つ意味の一面を捉えてはいるが、その全体のニュアンスをそのまま伝えられるものは一つもない。だからこそ、説明するのに苦労するのだ。

さらに面白いことに、この辞典が、「やさしい」という単語を説明するのに使った、それら中国語の単語の一つ一つは、中国語の世界においては、まさに「もっとも良い人間」を形容する場合に用いるような最上級の褒め言葉ばかりなのである。普通の中国人なら、その中の一つでも頂戴できれば、もはや嬉しくてたまらない気持ちになるであろう。

だとすれば、中国語の中で「もっとも良い人間」を褒め称えるのに用いる、最上級の言葉を10個以上も集めて、やっと、日本語の「やさしい」という一つの言葉の持つ意味を伝えることができるのだ、ということになるのである。

それを知った私は、「やさしい」とは、それほど素敵な言葉なのか、「やさしい人間」であるとは、それほど素晴らしいことなのか、と初めて分かったような気がした。

しかし、よく考えてみると、この「やさしい」という言葉をふんだんに使っている日本においては、「やさしい人間」と言われるような人々、あるいは、言われそうな人々が、実に多く存在しているのではないかと、ということにも気がつく。

すくなくとも私自身は、日本での18年間の生活の中で、実に、夥しい数の「やさしい人間」に巡り会った。

大学のやさしい先生、ボランティアのやさしいおばさん、学生寮のやさしい管理人、八百屋のやさしいおやじ、付き合っていたやさしい彼女、研究所のやさしい先輩と同僚、出版社のやさしい編集長……等々である。

つまり、わが中国で、10個以上の最上級の形容詞をもって、称賛しなければならないような「もっとも良い人間」は、この日本では、むしろどこにでもいるような普通の人間なのだ。ごく普通の「やさしい人間」というのは、むしろ平均的な日本人像となっているのではないだろうか。

「甘える」という独特の言葉を持つ日本民族は、すなわち「甘えの精神構造」の持ち主である。同様に、「やさしい」というかけがえのない言葉を持つ日本人は、「やさしさ」が一種の民族の精神的傾向性か心性のようなものになっているのだ。

それに比べると、形容詞を10個以上も集めなければ、「やさしさ」を説明できない現代中国語の貧困さは、そのまま、現代の中国国民の精神的貧困さの表れであろう、とも考えられる。

勿論、古の中国と中国語は、そうではなかったはずだ。

たとえば、私が日本で再び読むようになった「論語」には、「やさしさ」の意味を十分に取り込んだ言葉が少なくとも二つはあると思う。

それはすなわち、孔子様が繰り返し語った「仁」と「恕」である。

「仁」というのは、孔子様の創始した儒教の、もっとも中心的なコンセプトの一つであることは周知の通りだが、孔子様自身の解説によると、「仁とはすなわち人を愛すること」である。

「恕」という言葉は、碩学の金谷治の訳によれば、それすなわち、「まごころによる他人への思いやり」であるという。

「人を愛すること＝仁」と「他人を思いやること＝恕」は、まさに「論語」のエッセンスとなるような大事なキーワードであるが、この二つを合わせれば、それはそのまま、日本でいう「やさしい心」となるのではないだろうか。

この「仁」と「恕」こそ、「やさしさ」の極意なのだ。「やさしい人間」であることは、すなわち孔子様の理想とする「仁」と「恕」の道を歩む人間なのである。

言ってみれば、現代の中国語においてすでに死語となっている「仁」と「恕」は、いまや形を変えて、「やさしい」という日本語の素晴らしい単語の中に生きているのだ。そして、「論語」の中でもっとも大事にされている「仁の心」と「恕の心」は、まさに「やさしい人間」として、多くの日本人たちの精神構造の中で息づいているのである。

そうなると、「孔子の道」も「論語の精神」も、もはや格別に難しいことでもなんでもないことになる。

ごく普通の「やさしい人間」である日本人の場合のように、ごく普通の「やさしい心」をもっていればそれで良いのだ。それなら、この不肖の私にもできるのではないか、と思った。

それはまさに、私という中国人が、「やさしい」という日本語との付き合いを通して、そして「やさしい人間」の見本であるかのような多くの日本人たちとの付き合いを通してたどり着いた、わが祖先の古の道の再発見であった。

朧月夜

菜の花畑に 入日薄れ
見渡す山の端 霞深し
春風そよ吹く 空を見れば
夕月かかりて におい淡し

高野 辰之

里わの火影も 森の色も
田中の小道を たどる人も
蛙の鳴く音も 鐘の音も
さながら霞める 朧月夜

枕草子(一段)

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく、山ぎは少しあかりて、
紫だちたる雲の細くたなびきたる。

清少納言

春暁 孟浩然

春眠 暁を 覚えず
处处 啼鳥を 聞く
夜来 風雨の 声
花 落つること 知る多少

春暁 孟浩然

春眠 不覚暁
处处 聞啼鳥
夜来 風雨声
花落 知多少

聴いてごらん、
どんな雨。

春雨
五月雨
夕立
秋雨
時雨

感じてごらん、
どんな風。

春一番
青嵐
野分
木枯らし



朧月夜

高野辰之 作詞・岡野貞一 作曲



菜の花畑に 入り日薄れ
見渡す山の端 霞深し
春風そよ吹く 空を見れば
夕月かかりて におい淡し

里わの火影も 森の色も
田中の小道を たどる人も
蛙の鳴く音も 鐘の音も
さながら震める 朧月夜



$\text{♩} = 72$

な の は なばた けーに い り ひうす れ
さと わ のほか げーも も り のいろ も

み わ た すやま のーは か す みふか し
た な か のこみ ちーを た ど るひと も

は る か ぜそよ ふーく そー ら をみれ ば
か わ ず のなく ねーも かー ね のおと も

ゆ う づ きかか りーて に お いあわ し
さ な が らかす めーる お ぼ ろづき よ

[Top](#) | [日本語難易度](#) | [曲名](#) | [歌い出し](#) | [ジャンル](#) | [作詞家](#) | [作曲家](#) | [知名度](#) | [アンケート](#)

Copyright (C)2003 HAMADA, Miwa All Rights Reserved.

きおんしやうじや かね

祇園精舎の鐘の声、

しよきよらむじよら ひびき

諸行無常の響あり。

しらそらじゆ

沙羅双樹の花の色、

しよらしやひのすい ことわり

盛者必衰の理をあらわす。

もの

おこれる人もひたしからず、

ただはる よ ゆめ

只春の夜の夢のごとし。

もの つい

たけき者も遂にはほろびぬ、

ひとえ まえ ちり おな

偏に風の前の塵に同じ。